

非正規雇用 1956万人

1月、1年で133万人増

非正規雇用で働く人がこの1年で1333万人（7%）増え、1956万人に

完全失業率	全体	3.7% (-)
	男性	3.9% (-)
	女性	3.5% (-)
就業者	6319万人 (0.5%減)	
完全失業者	242万人 (0.8%減)	
有効求人倍率	1.04倍(0.01ポイント改善)	
<small>季節調整値、カッパ内は前月比、ーは変化なし。3カ月前連続で失業率が3%台で、有効求人倍率も1倍超の情勢判断を6カ月ぶりに引き上げ</small>		

■1月の雇用統計

なつたことが総務省が28日発表した1月の労働力調査でわかつた。パートやアルバイトの女性や、定年後に再び働く男性が増えたことが主な要因だ。

正規雇用は94万人少ない3242万人だつた。すべての雇用者数に対する非正規率は、1年前より2・3%高い37・6%になつた。

毎月の正社員と非正規労働者の数は、総務省が昨年1月分から公表をはじめ、今回から前年同月との比較

が可能となつた。男女別では、男性624万人（49万人増）に対し、女性は1332万人（84万人増）。非正規率は男性が21・7%だつたのに対し、女性は57・4%だつた。

また、この1年で非正規雇用が増加した年代は、男性では60歳以上が目立つた。60歳超の希望者全員の雇用を企業に義務づける法律が昨年4月に施行された影響とみられる。一方、女性では35〜54歳が、増えた年代の半数を占めた。景気回復に伴つて企業の求人が増え、子育てが一区切りした女性の受け皿になつたためだといふ。（山本知弘）